

結果を分析して、次のステップへ

6月は、市総体と定期テストという大きな行事がありました。

定期テストは7年生にとっては初めての形式のテストです。小学校の単元テストでは、中学校の単元テストより点数が高めにとれるように設定してあります。中学校の定期テストは、一定期間の学習の総まとめのテストになり、学力の定着度を試すものになります。一日に5教科のテストを全て受けることもはじめてで、一日の集中力が必要になることも実感したことと思います。

定期テストの大切なことは、テストが終わった後にあります。「学習内容の定着度や理解度（結果）」をもとにして「これからどう学習していくか自分を分析すること」です。点数が思ったより低いとき、次にどのようにするか冷静に考え、分析したことを黙々と実行することです。あるいは、点数が高かった場合、何が良かったのか、自分のねらい通りなのか、偶然良かったのか、これもまた冷静に振り返ります。よかったことは継続したり、より効率的な方法を探したりします。偶然良かったことは、次は必然になるように手を打ちます。学習の方法や量、時刻、学習の長さ、場所、タイミング、学習の強弱は、自分自身で模索していくことが一番よいと思います。ときには、周りの人（先生やおうちの方等）に助言してもらうことが必要な場合もあります。そして最終的には、自分で向き合っていきます。先日、9学年の学習で、私立高校の先生を講師とした講演会を拝聴しました。その講話の中で、「高校教育は義務教育ではないから、様々なことは自分の責任になる」というような話がありました。中学校の3年間で、定期テストや実力テストを糧にして、自己分析しながら自立して学習できるようになってほしいと思います。

新学年が始まって、3か月が終わりました。各学年の行事が本格的に始まっていきます。同時に学習も軌道にのせて、各自の学校生活をバランスよく充実させてほしいと願っています。疲れてしまったりうまくいかなくて困ったりすることがあります。そんなときは、いつでも相談してください。

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。市の総体では、早朝からの昼食の準備等、ご協力いただきましてありがとうございました。また、定期テストに向かう子供たちを温かく励ましていただき、感謝申し上げます。今後とも、お子様たちの健やかな成長のため、学校と家庭が連携し、より良い教育環境を築いていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

～各種大会に向かって～

市の総体では、各部活動で目標に向かって、仲間とともに励まし合い切磋琢磨してきたと思います。「勝つこと」を外的動機付けにして、仲間や顧問の先生等（いらっしゃるところは外部コーチや部活動指導員の先生方）と、身に付けたい力について語り合い、内的動機を明確にしながら、日々の活動を充実させてきたことでしょう。総体等の大会前に、９年生に「総体を通して身に付いていくことって何だろう？」と聞いたところ、１番多かったのが「仲間との絆」、次に多かったのが「粘り強さ」「あきらめない心」でした。

実際の大会では、練習の成果を発揮し、堂々としたプレーができました。それまで支え合ってきた仲間や指導してくださった先生方、そして応援してくださった保護者や地域の皆様へ、感謝の気持ちをもっているからこそその立派な雄姿であったと思います。これから県南や県などの各種大会やコンクール等につながっている運動部や文化部の皆さんは、一瞬一瞬を精一杯やりきってください。

【総体等各種大会】

